



創立50周年記念式典を終えて

校長 村山 孝

1月29日(木)に「創立50周年記念式典」を実施し、本日「創立50周年記念コンサート」を行いました。記念すべき両日を終えることができたことは、大きな喜びであるとともに、新たな一步を踏み出すきっかけとなりました。児童・生徒の皆さんにとっても、50年を全校でお祝いできたことは大切な思い出になったのではないかと考えています。ここまで御理解と御協力をいただいた保護者や本校PTAの皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。それでは、式典の様子を簡単ではありますが御紹介します。

「創立50周年記念式典」は、厳粛な雰囲気ではありましたが、温かな式典となりました。次第にある「児童・生徒代表の挨拶」は中学部3年代表生徒が挨拶をしました。挨拶の言葉や所作が素晴らしく、とても立派でした。当日は、PTAなど多くの御来賓の皆さまに御参列いただきました。御参列いただいた皆様に感謝を申し上げます。

今回は、保護者の皆さまに式辞の一部を御紹介します。以下は本校初代校長の上野節男先生が、開校の年に作成した「研究に関する冊子」の中から引用し、式辞として作成しました。

開校時の理念の中に、「教職員と保護者が連携し、自主的で創造的に取り組みを展開していくことが必要であり、この取り組みを実施することが、遭遇する様々な困難を乗り越える力となる。」とあります。

この理念は、時代が変わった今でも大変重要です。本校の児童・生徒の皆さんの成長のために、時代の背景や変化を理解し、時代に合った新たな取り組みを進めるとともに、個別最適化された教育を実現することが、開校時の理念の継承と考えます。

今の時代は、予測困難な状況があります。高い壁が立ち上がるかもしれません。しかし、開校当時の理念や五十年培ってきた歴史を土台に、保護者や地域の皆さまと、強い絆を保って、困難な時代を乗り越え、明るい未来へと歩いていきたいと思えます。

今後、様々な困難なことがあるかもしれませんが、保護者の皆さまと「強い絆」を大切にしながら、お子様一人一人の夢の実現のために進めてまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、昨日お配りした「記念誌」の中に「二次元コード」がございます。二次元コードを読み込みますと、本校キャラクター「こがねっぴい」が御挨拶します。ぜひ、ご覧ください。

◆◆◆◆◆◆◆◆地域の交流校と交流を行いました◆◆◆◆◆◆◆◆

本校は、50年の歴史の中で、「開かれた学校」「地域とともにある学校」を目指してまいりました。特に、近隣の小金井第二小学校、本町小学校、小金井第一中学校との交流活動は、本校の大切な取り組みです。今年度は1月に小学部3年生が小金井第二小学校と、小学部4年生が本町小学校と、中学部が小金井第一中学校と交流を行いました。

交流学習の意義は「互いの特性や多様性への理解が深まり、思いやりの心が育つことができる」「協働的な活動をとおして、社会性やコミュニケーション力が高めることができる」「共に学ぶ経験が、誰もが参加しやすいインクルーシブな学校づくりにつながる」などです。今回の小金井第二小学校と本町小学校との交流は「ゲーム」「歌」「パラバルーン」など子供たち同士が楽しめる内容で交流を行いました。始まったときは緊張している児童もいましたが、活動を繰り返すことによって、児童同士の距離が縮まり、笑顔で楽しそうに活動する様子がありました。